

櫻だより



氷見市立北部中学校
校長室から
令和5年10月4日

「つなぐ」

第1区でO君が第1位で競技場に戻ってきた。鳥肌が立った。

先週土曜日の県中学校駅伝競走大会のこと。

彼は7月の陸上競技大会でも上位に入っていたので、5番以内では来ると予想していたが…。開会式前に目標を訪ねると、彼は「1位で帰ってきますよ」と、涼しげな顔で言っていた。本当に1位で戻ってくるとは、いやはや恐れ入りました。

県中学駅伝は、今年で男子40回、女子32回目の開催。

氷見北部の過去最高順位は、男子が平成18年第23回大会の3位。入賞はこれまでに7回。

女子の最高順位は平成4年第1回大会の7位。入賞は4回。

上位入賞はなかなかに厳しいものである。ちなみに区間1位は過去に男子4名。

駅伝はたすきをつなぐ。たすきに想いを込めて次のランナーへつなぐ。

今年の駅伝では、目標を20位といていた女子が12位と健闘。その勢いが男子へつながる。

男子は1区が1位、そして2区も1位でたすきをつなぐ。

ここで校長が「全国大会行ったら遠征予算は大丈夫か」といらぬ計算を始める。

捕らぬ狸のなんとかで、こんなことを考え出すとよい結果にはつながらないもの。

終盤に順位を落としたが、たすきと想いをつなぎ切り、堂々の4位でフィニッシュ。

選手、監督、役員、応援の皆さん、お疲れ様でした。いい夢を見させてもらいました。

さて、今年度の生徒会テーマは「Connection ～結～ つなぐ伝統 つながる想い」。

つなぐ、つながることがテーマ。

つなぐことについて、Appleの創業者スティーブ・ジョブズ氏は、次のように述べている。

未来に先回りして点と点をつなげて見ることはできない。

君たちにできるのは過去を振り返ってつなげることだけ。

だからこそバラバラの点であっても将来それが何らかのかたちで

必ずつながっていくと信じなくてはならない。

今やっていることが、どこかにつながると信じてください。

将来が不安になるだろうけど、今取り組んでいることを信じて行うことが大切と説いている。

また、ムーミンに出てくる旅人のスナフキンは、つながることの美しさを次の言葉で。

「心のつながった仲間こそ、ルビーにも勝る美しいルビーさ」

過去の出来事の一つ一つが、今の自分につながり、自分を形作っている。

学校の伝統というものも、今取り組むべきことを、がむしゃらに頑張ってきた先輩方の想いがつながって出来上がってきたものだろう。

学校は前期から後期へとつなぐ時期。

先輩と後輩、そして仲間と心をつなぎ、よき伝統をつないでいくことを期待しています。